

～オンライン講演会～

## 「海岸・湿地植物から考える夢洲の生物多様性」

——— 大阪湾の人工島に出現した貴重な自然 ———



日時：2020年8月21日（金）19時より

閉会は20時30分（予定）

講師：長谷川匡弘氏（大阪市立自然史博物館）

参加費：無料

参加：100名先着順

申込：こちらから登録してください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_zkS7pU8KSkSSqaVDxycgVg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_zkS7pU8KSkSSqaVDxycgVg)

主催：（公社）大阪自然環境保全協会 共催：NPO地域づくり工房



大阪・関西万博が開催される予定の夢洲は、最多で2000羽を超えるシギ・チドリが飛来、数千羽のホシハジロほかのカモ類が越冬し、希少な湿生植物が見られます。そのため、大阪府のレッドリストで生物多様性ホットスポットのAランクに指定されています。

（公社）大阪自然環境保全協会は、昨年度から、NPO地域づくり工房とともに、市民からの環境アセスメント提案に取り組み、独自に生きもの調査を実施してきました。

その結果、リュウノヒゲモなどの水草やヒトモトススキのような海岸近くの湿地に多い植物を確認しました。かつては河口や海岸に見られた植物ですが、今はめったに見ることができません。

大阪・関西万博は持続可能な開発目標SDGsの達成をかねており、その成功は、夢洲の自然環境の保全再生抜きには考えられません。私たちは、都市の自然環境の保全再生によって、大阪が世界に貢献できるよう最大限努力したいと考えています。

そこで、現在夢洲で植物相調査を行っている大阪市立自然史博物館の長谷川匡弘さんをお願いして、全国的に減少している塩性湿地の植物や、夢洲の工事地区で再生している湿地環境についてご講演いただくことにいたしました。この機会にぜひ、人間の創る都市環境と自然との共生を海岸・湿地植物を通して考えてみませんか。

（公益社団法人大阪自然環境保全協会会長 夏原由博）

この企画は、2020年度「地球環境基金」（独立行政法人環境再生機構）の助成により開催いたします。

